

平成 29 年 5 月 発行

第 45 号

発行 有田川町議会

発行責任者 議長 湊 正剛

住所 〒 643-0021

和歌山県有田郡有田川町

大字下津野 2018 番地 4

TEL 0737-52-2111

FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

有田川町議会広報

かわら版

春もよぶ生石の山焼き



写真提供：新家益代 氏

議長 副議長就任あいさつ 行政課題に最善の努力を



議長 正剛 湊



副議長 進 谷畑

町民の皆さまには、日頃より町議会ならびに町政に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、議会議長ならびに副議長に就任させていただくこととなりました。身に余る光栄であり、感謝いたしますとともに、責任の重大さを痛感しているところでございます。

有田川町は、人口減少の中で、少子高齢化問題や地域の農林業振興、

教育・福祉の充実、南海トラフなどの巨大地震に対する防災対策など、さまざまな行政課題を抱えています。

私たち議会は、これらの課題に積極的に取り組み、町民の皆さまの願いに応えられるよう、最善の努力をしてまいり所存でございます。

どうか今後とも、皆さま方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

議会構成決まる

議長・副議長

職名	氏名
議長	正剛 湊
副議長	進 谷畑

議会運営委員会 (◎委員長 ○副委員長)

委員会名	氏名
議会運営委員会 (6)	◎橋爪 弘 典 ○森本 英 明 小殿 英 世 森堀 信 哉 谷江 眞 哉 江 智 子

常任委員会 (◎委員長 ○副委員長)

委員会名	氏名
総務文教福祉常任委員会 (8)	◎小林 林 英 世 ○森本 本 明 森佐 々 哲 岡堀 吾 子 新亀 弘 男
産業建設住民常任委員会 (8)	◎殿森 井 信 堯 ○谷 谷 畑 哉 辻中 岡 進 湊 山 明 増橋 谷 典 谷 弘 憲

特別委員会

(◎委員長 ○副委員長)

委員会名	氏名
下水道事業対策特別委員会 (10)	◎辻中 岡 俊 明 ○小林 山 英 進 殿佐 英 世 森堀 裕 哲 湊 信 哉 亀 眞 子 江 正 剛 井 次 男 谷 井 男 江 剛 井 男 森 井 男 堀 井 男 湊 井 男 亀 井 男
国道対策特別委員会 (9)	◎森新 谷 哉 ○谷 弘 進 小森 英 世 岡林 省 明 本 正 吾 湊 弘 剛 増橋 谷 憲 谷 瓜 典
議会活性化調査会特別 (8)	◎堀江 眞 子 ○辻中 岡 俊 明 小殿 英 世 森堀 信 哉 増橋 谷 哉 谷 畑 明 山 進 谷 弘 男
議会広報編集特別委員会 (6)	◎増小 谷 英 世 ○谷 畑 進 辻中 山 明 湊 谷 典 増橋 弘 憲

委員会名	氏名
監査委員	亀井 次 男

一部事務組合議会

(◎は一部事務組合議会議長)

一部事務組合議会名	氏名
有田周辺広域圏事務組合議会議員 (3)	◎橋爪 弘 典 殿 井 次 堯 亀 井 男
有田郡老人福祉施設事務組合議会議員 (3)	◎湊林 正 剛 増 谷 宣 男 憲
有田聖苑事務組合議会議員 (2)	森堀 本 明 江 眞 子 江 智 子
和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員 (1)	湊 正 剛



白熱の議論をへて 当初予算決定

一般会計当初予算 147億2700万円計上！
～前年度比 △4億6300万円～

- | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|----|-------|
| 1. | 森 | 谷 | 信 | 哉 | …… | 4ページ |
| 2. | 殿 | 井 | | 堯 | …… | 5ページ |
| 3. | 辻 | 岡 | 俊 | 明 | …… | 6ページ |
| 4. | 岡 | | 省 | 吾 | …… | 7ページ |
| 5. | 小 | 林 | 英 | 世 | …… | 8ページ |
| 6. | 増 | 谷 | | 憲 | …… | 9ページ |
| 7. | 堀 | 江 | 眞 | 智子 | … | 10ページ |

14日・15日に予定されています。

有田川町議会平成29年第2回定例会は、6月6日開会の予定で、一般質問は6月14日・15日に予定されています。

また、一般会計予算における地方創生事業や文化的景観保存事業など、内容や妥当性について、活発な質疑が行われました。

平成29年第1回定例会は、3月2日から23日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。

7議員が質問

一般質問



過疎地域、高齢者の買い物対策は 飲料水供給施設の今後は



森 谷 信 哉

過疎地域の買い物対策は

町 長 豊根村の取り組みを参考に、前向きに検討する

質問 過疎地域の買い物は、地元商店の廃業や移動販売業者の撤退などで困難な状況になっている。

そこで提案だが、愛知県豊根村が実施している「おつかいポインタ便」事業をわが町に導入してはどうか。

この事業は、地元商店に商品を電話注文し、翌日に郵便局員が各家庭へ配達してくれるシステムで、自動車を運転できない高齢者からは大変喜ばれている。

また、取りまとめを商工会がし、バックアップを行政が行うことにより、過疎地でがんばっている商店に光をあてることもできる。

町長 この取り組みは、買い物弱者対策と商店活性化

対策につながる良い事例だと思うので、前向きに検討していきたい。

産業振興部長 商店数を調べたところ、地域によつては以前に比べて半数になっているところがある。

過疎地域商業支援のため、関係機関と協働して活性化に取り組んでいきたい。

飲料水供給施設の今後は

部 長

調査結果をもとに補助規則改正などを検討していく

質問 飲料水供給施設とは、水道がないため、地域で組合をつくり、飲み水を谷川から引く自己管理施設のことである。

配管の老朽化や過疎化により、組合での施設管理が難しい状況になってきている。

組合への支援、運営管理対策について、町は今後どのように考えていくのか。

町長 平成25年9月議会でも同様の質問があり、施設の状況と維持管理改善策を検討してきた。

特に清水地域では、昨年12月に状況を調査したところ、利用戸数および人数が大幅に減少しており、今後も維持管理はますます難しくなると考えている。



飲料水供給施設（板尾地区）

建設環境部長

清水地域で水道を使っている方は全体の約70%。残り30%、およそ1000人の方が飲料水供給施設、井戸、湧き水などで飲料水を確保されている。

る。調査結果を踏まえ、補助規則の改正などを検討していきたい。

国道の維持管理は

部 長 県との連携を密にして取り組んでいく

質問 国道480号については前回も質問をしたが、樹木の枝や道路脇の草が道路を狭くしている。また、冬場の降雪対策が、予算不足で十分にできなかったとも聞いている。維持管理について、県と連携を密にし、強く要望されたい。

建設環境部長

県に問い合わせたところ、支障木などは具体的な場所を要望すれば対応してくれる。

降雪対策は、今年は特に雪が多く、十分な対応ができなかった。今後は融雪剤散布方法などを検討したいとの回答であった。



環境先進の町として今後の取り組みは 危険な通学道路の対策を

殿 井 堯

**環境先進の町としての
今後の取り組みは**

町 長
できる限り自然エ
ネルギー資源の掘
り起こしを図る

質問 二川小水力発電所

は順調に稼働しているよ
うだが、平成28年度の売
電収入見込額はどれくら
いになるのか。

また、これを積み立てて
いる「循環型社会の構築と
自然エネルギー推進基金」
は現在いくらあり、今後、
この基金をどのように活
用していく計画なのか。

町長 平成28年度の収入見
込額は、5000万円程度に
なる。また、基金への積立見
込額は4700万円となる。



全国から注目されている
二川小水力発電所

この基金による平成29年
度の事業計画は、防犯灯L
ED化推進事業、消防本部
に太陽光発電施設設置、教
育関係の資金としても活用
していく方針だ。

質問 有田川町は「次世
代エネルギーパーク」の
認定や「新エネ大賞資源
エネルギー庁長官賞」の
受賞により、新聞やテレ
ビで注目を浴びている。

環境先進の町として、
今後どのように取り組ん
でいくのか。

町長 豊かな自然と環境保
全を推進するとともに、エ
コの町としてできる限りエ
ネルギー資源の掘り起こし
を図る。

**狭くて危険な通学道路
対策は**

町 長
用地確保やその他
の対応できる方法
を考えていく

質問 通学道路の中には
危険な地域があり、現在
も改善されていない。

そのなかでも御霊小学
校周辺の通学路は、道幅
が大変狭い。以前から「何
とか改善できないか」と
保護者や地域住民からの
要望があるが、いつこう
に改善されていない。
何とか早く解決できな
いのか。

町長 地元の地権者と一年
間の用地交渉を進めてきた
が、残念ながら進展はな
かった。

今後も用地確保への交渉
は続けていく。

また、その他にも対応でき
る方法を早急に考えていく。

質問 側溝にふたをして
少しでも道幅を広げたり、
グラウンドの一部を通学



安全対策が求められている通学路（御霊小学校東線）

路として使用できないか。
子どもたちの最低限の
安全を確保できる応急対
策があるのではないかと。

教育長 御霊小学校の登下
校時に、少年センターの巡回
やPTA、子どもサポーター
の方々の協力で交通安全の
啓発に努めている。

今のところ大きな事故は
起きていないが、危険な場所
であることに変わりはない。

関係各部と連携しながら、
グラウンド内の通学路も含
めて検討し、子どもの安全
を確保していく。

以前の一般質問答弁後の 町当局の検討や取り組みは



辻 岡 俊 明

答弁後の取り組みは

町 長
いろいろ検討したが、今すぐとはいえない

質問 平成27年6月定例議会で「吉備庁舎へ新たに進入路を増やせないか」ということと、「歴史遺産を守るために高野街道に道標設置をしては」という一般質問をした。

当時の答弁は、前向きに検討して取り組むというものであったが、その後どのような検討や取り組みをしたのか。

町長 「進入路」は3案を検討した。

- ①現在の進入路である町道へ右折レーン増設
- ②議会棟北側の手水池沿いへ道路新設
- ③議会棟南側を通って西側の町道に抜ける道路を新設

いずれの案も多額の事業費を必要とし、庁舎の安全や費用対効果の面などクリ



たびたび大渋滞する進入路（吉備庁舎出入口）

アしななければならない課題は多い。

質問 新たな進入路建設

は多くの人々が願っていることであり、それを造ることによって「きびドーム」や「吉備庁舎」の利用価値は、飛躍的に上がると思うがどうか。

町長 きびドーム・吉備庁舎は、出入りする道路が一

本しかなく、大きな集会を開いたときなどは大渋滞が

発生し、混雑することは十分承知している。

補助事業や有利な起債事業などを活用し、庁舎周辺整備とともに検討していきたい。

質問 高野街道の道標設置は、どのようになっているのか。

町長 高野街道は、古くから多くの人々が行き交い、東西に流れる有田川とともに、有田川町の歴史・文化を育む大きな役割を果たしてきた文化遺産の一つである。

道標設置は計画中であり、

町の歴史遺産や観光振興などを考えながら設置場所を選定していきたい。

あわせて、高野街道とその周辺文化財を探访する歴史ウォークなどを開催し、普及啓発に取り組んでいきたい。

教育部長 教育委員会で

は、町広報誌に掲載している「探訪わが町文化財」で、高野街道と街道沿いに存在する文化財について計6回にわたって紹介してきた。

文化遺産としての高野街道の、周知・普及を図っているが、道標設置には至っていない。



伊勢高野街道道標（奥地内）



住民の安心・安全な生活を 確保するために

岡 省 吾

急傾斜地崩落防止対策の 推進を

町 長 順次、計画的に
事業化をしていく

質問 山林を背にして住居をかまえる住民は、裏山崩壊の不安を抱きながら、日々生活を送っている。地域からの急傾斜地対策の要望状況とこれまでの施工実績は。

町 長 ここ5年間の要望に対して、施行実績は12件ある。

採択基準に該当している箇所は、国、県の事業で順次施工を進めている。

今後も、要望の中で、採択基準を満たし、用地の承諾が得られた箇所から計画的に事業化していく。

質問 国道、県道、町道の落石危険箇所対策は。

町 長 国道、県道については県が点検を行い、危険箇所から優先度の高い順に施工している。



すでに急傾斜地対策を行っている場所（栗生地区）

迅速な消火活動に

町 長 防火水槽・消防車両
情報整備に努める

質問 火災時の消火活動は特に迅速な行動が求められる。

町 長 地域の要望に応え、現在も消防水利の確保に努めている。

防火水槽の新設は、消防本部と協議し、水利確保が急がれるところから順次整備していく。

消火のための水源として防火水槽の役割は大きいと思うが、町内の充足状況はどうか。

質問 消防団の車両は、狭い路地や混雑する火災現場において、小型車両の方が活動しやすいと考える。

町 長 車両更新時の方向性はどうか。



機動性に優れている軽四積載車

町 長 現在、消防団の総車両数は85台で、うち約7割が軽四積載車である。

消防団の機動力を効果的に発揮する観点から、小型化は重要であると考えている。

また、維持管理のメリットが大きく、地域の実状と消防力の現状を考え、適切に整備していく。

質問 消防団員が火災情報を知る上で、緊急防災無線情報の重要性は高い。火災現場にピンポイントで向かえるよう、正確な情報伝達が極めて重要ではないか。

消防長 通報者から具体的な火災情報が得られない場合や、場所の特定が非常に困難な場合も多々あるが、緊急防災無線放送は特に重要であり、できるだけ正確な情報伝達に努める。

また、4月からは全消防団員に携帯メールを使い、情報伝達できる体制を作る。

備えよう! 公助には限界がある 節水は省エネ! 水を大切に



小林 英 世

本町の防災組織の現状は

町 長
不十分な面もあり
つながりを強化し
たい

質問 自主防災組織に何を期待し、組織の充実のために、どのように支援していくのか。

町長 大規模災害が発生したとき、行政のできることは限られている。

自助、共助は大変重要であり、行政の支援が届かない場合でも、自主的な活動ができるように準備されたい。

防災意識の向上が大切で、研修会の実施、区長会への要請、広報、防災士の養成などを支援していく。

質問 自主防災組織の現状をどう把握しているか

総務政策部長 約93%の組織率。先進的な組織もあるが、大規模災害に十分備えているとは考えていない。

防災訓練などを年1回以上実施しているところは50

%以下。

今後も啓発に努める。

質問 防災士の有資格者が増えている。横の連携を考えてはどうか。

総務政策部長 各自主防災組織の一員として活動し、役員などの中心を担ってほしい。また積極的に発言し、地域の防災力向上にその知識を活用してほしい。

質問 指定避難所の鍵は誰が管理しているのか。

町長 63カ所の内、44カ所は、地域で鍵を保管している。

他の施設も、施設の管理者と相談し、地域で鍵を管理できるように検討していきたい。

質問 昨年9月議会で「役場の防災訓練を早急に実施したい」と答弁を得た。

どのような防災訓練をしたのか。

町長 昨年は各庁舎において、地震時のシェイクアウト

ト訓練（一斉防災訓練）、庁舎外への避難訓練、有田振興局管内合同無線訓練を実施した。

水道料金の基準見直しを

町 長
現状は難しい。
何か手立てがない
か検討したい

質問 家庭用水道で、基本料金（10㎡）以内の件数は。

町長 平成29年2月時点で、基本料金内の件数は3592件。（全加入件数10838件）

質問 ひとり暮らし家庭の増加、エネルギー節約、公平さを考慮して、超過料金発生基準を下げることはできないのか。

町長 現在の基準を変えることは難しい。しかし、高齢者世帯やひとり暮らし世帯の増加が予想されるので、今後、手立てを検討したい。



現在の吉備浄化センター

水を大切に!
節水を呼びかけては

町 長
広報などで啓発
したい

質問 水道水をつくったり、下水の処理には電気などのエネルギーが必要である。

もっと水を大切に使うよう、節水を呼びかけてはどうか。

町長 エネルギー消費については認識している。

町広報誌などで啓発し、節水に取り組みたい。



さまざまな防災に十分な対策を

増 谷 憲

みかんを学校・保育所給食に

町 長 予算化して出していきたい

質問 有田みかんを保育所や学校給食に出し、消費拡大や食育にいかしてはどうか。

町 長 平成29年度から予算化して出していきたい。

木造住宅耐震化基準を新しい基準にしては

町 長 県の制度が拡充されれば対応したい

質問 木造住宅耐震化に、県は新しい基準で助成することになった。昭和56年以前の基準では倒壊する木造住宅が出てきたため、平成12年5月以前の新しい基準（筋交いや柱をとめる金具を明確化など）で対応するためである。

町もその基準で耐震化

工事の助成をしてはどうか。

町 長 県の補助制度が拡充されれば、対応していきたい。

質問 耐震化工事費は、かなり要するため11年間の平均実績は2.4件しかない。補助額の引き上げを求め。

町 長 現状でいきたい。

質問 震度5強で、自動的にブレーカーが落ちて通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置補助はどうか。

町 長 消防署に感震ブレーカーを購入し、町民に啓発していきたい。

質問 県の小規模ため池改修制度が拡充された。防災上からも制度を活用してはどうか。

町 長 簡易なサイフォン式放流施設（サイフォンの原理を利用して緊急時に貯留水を下流へ流すしくみ。安

価で簡単な工事ですむ）を導入する場合、補助が出る。県で施策が認定されれば対応したい。

大規模発電施設などの建設計画はどうか

町 長 事業者には十分な説明と理解が得られるよう伝えている

質問 大規模太陽光発電施設や風力発電施設、2カ所の小水力発電施設の計画や進み具合はどうか。また、町民に説明して



計画がある小水力発電（修理川地区）

いるのか。防災上の対策はどうか。

町 長 上六川地区に建設中の太陽光発電は民間事業者が行い、39haの土地に1万7000kwの発電を行う。平成30年稼働予定。

風力発電施設は、有田川町、日高川町、広川町にまたがって、23基の風車を民間事業所が建てる。4万8300kwの総出力となり、平成33年中の稼働を予定。

民間事業者が計画している小水力発電施設は、修理川地区の場合、県河川課と協議中。水位の上昇対策などが決まれば、開発着手の可否決定を行う。

川口地区は、調査結果を基に事業化の検討を行うと聞いている。

どちらの計画も地元町民への十分な説明と理解が必要であり、水害の被災地区であることを念頭に、進めるよう事業者に伝えている。

安心して産み育てられ 介護が受けられるように



堀 江 眞 智 子

子育て支援はどうか

町 長
解決に向け
取り組んでいる

質問 有田市立病院が分娩再開。今後、すぐに出産に向けての検診が受けられるのか。

町長 有田市立病院に確認したところ、4月から検診を実施し、夏ごろから分娩を再開する予定である。

質問 産前・産後休暇や育児休業の取得を理由に、保育所から上の子を退所させないように。



分娩開始予定の有田市立病院

町長 産休や育休取得の場合、ただちに退園させるようなことは考えていない。保護者と話しをして、個々の状況に応じてやっていきたい。

質問 障害を抱え、特別な配慮が必要な子どもに対する町の施策を明らかにしたい。

教育長 就学支援委員会を設置し、支援員や保育士を配置している。

心身に障害を持つ幼児、児童、生徒の早期発見に努めている。

適切な就学を図り、どの子にとっても安心安全な生活、学習ができる場の確保に努めている。

質問 発達などの課題を抱えながら通常学級に在籍する子どもへの対応はどうか。

教育長 町長の公約である、35人学級編成を行うと共に学校独自の工夫を行い、弾力的な指導を実施している。



小学校にある特別支援学級

特別支援員は、特別支援学級だけではなく、通常学級に在籍する子どもへも支援を行い、その子に応じた、きめ細かな支援を実施している。

介護予防などの対策は

町 長
基本は現状サービスでいく

質問 「介護予防・生活支援サービス事業」について、どこでどのようなサービスが受けられるのか。

町長 訪問介護、通所介護を「介護予防、日常生活総合支援事業」として地域支援事業の枠内で実施する。

受け皿となる事業者は、現行の予防給付サービスを提供している事業者となる。短期集中型介護予防サービスは、理学療法士や作業療法士を配置している事業者に働きかけを行っている。家事支援サービスは、現在、シルバー人材センターと調整中である。

質問 「地域包括支援センター」は、介護を必要とする高齢者などのニーズにこたえられているのか。

町長 高齢者のニーズは多岐にわたり、環境や家族の状況などにより、必要な支援が異なっている。

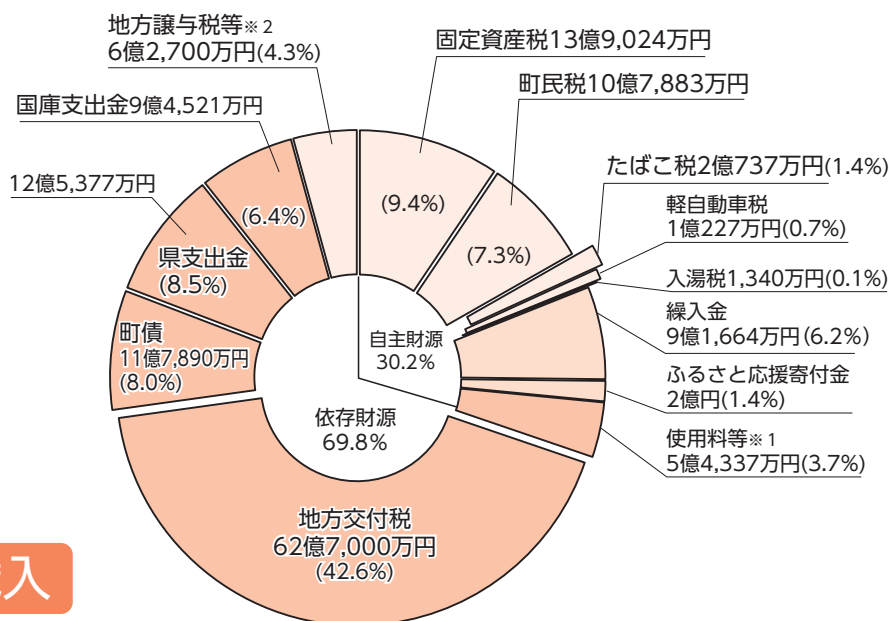
包括支援センターでは、その人の状況に応じて、ケアマネージャーやサービス提供事業所をはじめとした多様な機関と連携し、日々の対応を行いながら必要な支援やサービスにつなげている。

自主財源が30%越え

防災行政無線デジタル化事業に
ふるさと応援基金活用事業に

2,807万円

2,227万円



平成29年度の一般会計予算は、対前年度比
4億6300万円の減となりました。

平成
29年度

有田川町

予算

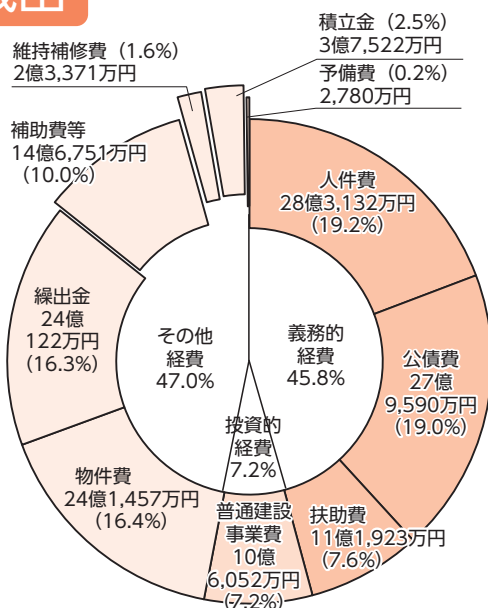
※1 使用料、手数料、分担金、負担金、財産収入、寄附金(ふるさと応援寄附金除く)、繰越金、諸収入の計

※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金の計

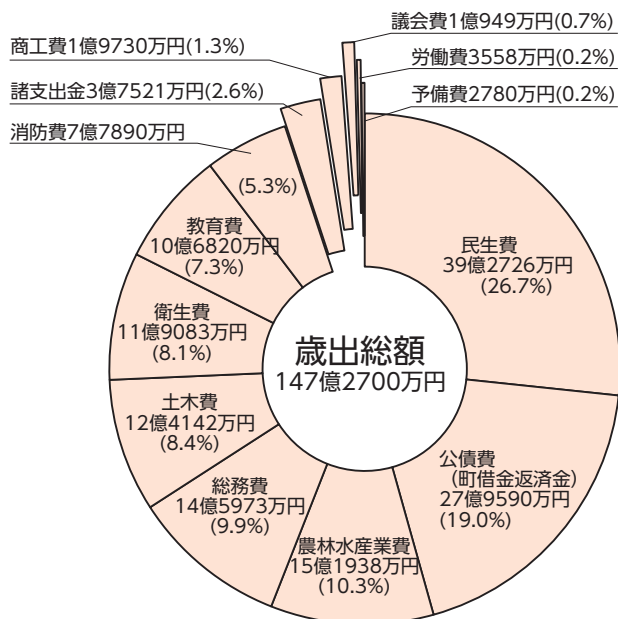
歳入歳出それぞれ **総額** 147億2,700万円 前年度 【151億9000万円】

※1万円未満を四捨五入しているため、各項目を合計したものと一致しない場合があります。

歳出



一般会計の性質別内訳



一般会計の目的別内訳

平成29年度 一般会計当初予算 おもな事業

総務政策部

- ◎ふるさと納税寄附者返礼事業 9418万円
- ◎みかん出稼ぎ若人就農・定住支援事業 120万円
- ◎女性による有田川町フアンづくり事業 300万円
- ◎女性・若者起業支援事業（上限50万円の2分の1以内の補助） 500万円
- ◎生活バス運行補助事業（民間路線バス会社） 3500万円
- ◎防火水槽整備事業（生石、久野原地区） 1000万円

住民税務部

- ◎消防詰所建築事業（西丹生図地区） 850万円
- ◎防災行政無線デジタル化事業 2807万円
- ◎防犯灯LED化事業（500基分） 750万円
- ◎重度心身障害児者医療助成事業（対象者503人） 6668万円
- ◎乳幼児医療助成事業（対象者1399人） 3860万円
- ◎子ども医療助成事業（対象者1867人） 4179万円
- ◎ひとり親家庭医療助成事業（対象者835人） 2542万円

福祉保健部

- ◎高齢者福祉センター修繕事業 2291万円
- ◎産前・産後サポート事業（助産師の家庭訪問） 400万円
- ◎小児インフルエンザ予防接種助成事業（小学生まで対象） 1100万円
- ◎町社会福祉協議会助成事業 4972万円
- ◎第3子以降出産祝い金事業（25万円35件分） 875万円

消防本部

- ◎太陽光発電施設設置工事 830万円
- （車庫の屋上へ太陽光パネル設置）
- ◎車両購入（指揮広報車、消防団軽四積載車、小型消防ポンプ） 1430万円

教育部

- ◎放課後児童健全育成事業（学童保育6施設） 4141万円
- ◎スクールバス購入 600万円
- ◎絵本まちづくり総合推進事業 1960万円
- ◎文化的景観保存活用事業（三田あらぎ島周辺景観） 1695万円



あらぎ島

- ◎中学生国際交流事業（オーストラリア研修） 1265万円

産業振興部

- ◎きび東グラウンド防球フェンス改修事業 1704万円

建設環境部

- ◎有害鳥獣捕獲事業 4058万円
- ◎木材加工施設作業用フオークリフト購入 250万円
- ◎ふるさと体験施設指定管理料（ふるさと開発公社へ） 1990万円
- ◎観光施設巡回バス運行事業 665万円
- ◎高原の家しみず解体撤去事業 1750万円
- ◎ゴミ収集運搬業務事業 5291万円
- ◎可燃ゴミ収集用塵芥車（パッカー車）購入 847万円

一般会計質疑

質疑 普通交付税の算定替えと1本算定との差額（減額分）は試算でいくらになるか。

総務政策部長 約5億1400万円が差額となる。

質疑 消耗品、備品購入の地元発注率引き上げを求める。

平成29年度

主な土木事業

予算額

町道北筋西丹生図2号線道路改良事業	1億円
町道有原西ヶ峯線道路改良事業	4880万円
町道押手臼谷線道路改良事業	4880万円
橋梁撤去事業（中原地区）	3000万円
町道歡喜寺松原修理川線道路改良事業	1億50万円
町道生石大月線道路改良事業	4880万円
町道こり石線道路改良事業	800万円
林道峠上二澤線開設事業（下湯川・二澤地区）	1億1600万円
林道日物川境川線開設事業（東大谷・境川地区）	9400万円
橋梁長寿命化補修事業（設計6橋、工事5橋）	4700万円

総務政策部長 物品の調達では、地元業者を含めた中で見積もりをとって購入している。今後もその方向で考えていく。

質疑 町直営の防犯灯LED化財源は、国の補助制度を活用されたい。

総務政策部長 管理主体が自治体の場合、環境省の補助が受けられるが、今のところ考えていない。

質疑 学校を除く和式トイレ洋式化への工事で、清水会館の工事は済んだのか。あとの公共施設の計画はどうか。

総務政策部長 男子トイレは平成27年度に改修し、女子トイレは平成28年度に改修している。あとは使用頻度を考えて検討したい。

質疑 金屋にある3つの保育所の給食調理業務を民間委託するが、事故などの責任の所在と賠償は明記しているのか。

教育部長 契約書に明記している。

質疑 給食運営で保育士との連携はできないことから、日々の園児の状況をつかんだ調理ができるのか。

教育部長 業務委託仕様書では、町栄養士や保育所長の指示に従う。また

保育所や家庭と連携し、当日の体調も考慮して臨機応変に対応するよう明記し、安全安心の徹底を図っている。

質疑 職業安定法施行規則第4条第4項で、受託業者は自らの器材で調理を行わなければならない。

町の施設を使う場合、賃貸借契約が必要ではないか。

教育部長 給食調理などの業務は町有財産使用貸借契約書を結ぶ予定になっている。

質疑 きび森の保育所では、賃貸借料をもらっているのか。

教育部長 仕様書で用料は取らないとなっているので、もらっていない。

質疑 労働安全衛生上、業者は施設の改修をできないのではないか。

教育部長 施設の改修は業者と協議し、必要があれば町が改修する。

質疑 給食調理業務の民間委託移行を保護者に説明しているか。

教育部長 説明は行っていない。

質疑 土曜保育は藤並保育所でしかやっていない。

要望があれば、清水保育所でも実施されたい。

教育部長 保育士などの人員配置状態を考えると藤並保育所でしかやっていけない。今後も1カ所でやっていく。

質疑 健診センターの人員や設備を考えると集団検診の体制が十分でなく、受診者数を増やせないと聞く。体制がとれるよう要望されたい。



県立こころの医療センター

福祉保健部長 県民総合

健診センターの体制では、県下市町村への健診割り当てはいつぱいであり、町として追加要望することとは難しい。

今後は民間医療機関などで行えるよう検討したい。

質疑 「いろいろの医療センター」にあるMRIが耐用年数を超え、春頃から使えなくなると聞いている。対応はどうか。

福祉保健部長 現在、確

認していないが、更新時期であれば設備について県への要望を検討したい。

質疑 有田地方には引きこもり対策の居場所がない。

関係者の声を聞き、1市3町で居場所づくりの協議を求めたい。

福祉保健部長 今後1市3町で協議したい。

特別会計予算 おもなもの

◎国民健康保険事業特別会計

47億666万円

質疑 高額医療制度は、8月から住民税課税の70歳以上を対象に、負担上限額はどうなるか。

住民税務部長 年収37

0万円未満で、外来負担上限月額2千円増えて1万4千円になり、入院では1万3200円増え



地域包括支援センター（金屋庁舎内）

て5万7600円になる。
◎後期高齢者医療特別会計
7億1755万円

質疑 平成29年度は保険料の特例軽減を含めて、負担増はどうなるか。

住民税務部長 被用者保

険加入者の扶養家族が後期高齢者になった場合、被扶養者は、加入者全員の9割軽減適用が7割軽減になる。

ただし、世帯の所得水準により、引き続き低所得者の9割軽減と8.5割軽減の方もある。

平成29年度当初見込みで、平成28年度にこの被扶養者の特例軽減を受け

条例の制定一部改正

- ◎町税条例の一部改正
- ◎介護保険条例の一部改正
- ◎町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- ◎ふれあい交流館条例の制定
- ◎老人憩の家条例の一部改正
- ◎使用料の徴収に関する条例の一部改正
- ◎水道事業及び簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ◎個人情報保護条例等の一部改正
- ◎清水コミュニティセンター条例を廃止する条例の制定

ていた722人のうち9割軽減を受けられる人は299人、8.5割軽減は174人、7割軽減が249人、あわせて423人が見直しの影響を受ける。

◎介護保険事業特別会計
31億9957万円

質疑 8月から、高額介護サービス費、一般区分の月額負担上限額はどうなるか。

福祉保健部長 月3万7200円から、4万4400円に引き上げる。

◎簡易水道事業特別会計
6億3813万円

◎公共下水道事業特別会計
17億1346万円

◎農業集落排水事業特別会計
2億9461万円

◎かなや明恵峡温泉特別会計
7173万円

合併後の休校・廃校一覧

学 校 名	休校開始 年月日	廃校 年月日	休校・廃校後に 新たに通う学校
八幡小学校 三田分校	平成15年 4月1日	平成20年 3月31日	八幡小学校
早月小学校	平成17年 4月1日	平成22年 3月31日	小川小学校
生石小学校	平成20年 4月1日	平成20年 10月1日	小川小学校
上六川小学校	平成22年 4月1日	平成24年 3月31日	鳥屋城小学校
安諦中学校	平成23年 4月1日	平成29年 1月1日	八幡中学校
修理川小学校	平成24年 4月1日	平成24年 10月1日	石垣小学校
楠本小学校	平成26年 4月1日		城山西小学校
五西月小学校	平成27年 4月1日		小川小学校
粟生小学校	平成27年 4月1日		鳥屋城小学校
城山西小学校	平成29年 4月1日		八幡小学校

基本協定の変更

◎公共下水道根幹的施設の建設工事委託に
関する基本協定

道路線の認定

◎町道川口岩野河線の認定（950m）



町道川口岩野河線（岩野河地内）

◎町道板尾杉野原線の認定（945m）



町道板尾杉野原線（杉野原地内）

平成28年12月議会以降の委員会活動

月 日	委 員 会 名	出 席 者
1月11日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長
1月17日	議会運営委員会	委員6人、議長
1月17日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長
1月30日	議会活性化調査特別委員会	委員6人、議長
2月24日	議会運営委員会	委員6人、議長
2月28日	下水道事業対策特別委員会	委員10人（うち議長も含む）
3月 3日	産業建設住民常任委員会	委員8人、議長
3月 6日	総務文教福祉常任委員会	委員8人（うち議長も含む）
3月17日	議会活性化調査特別委員会	委員8人、議長
3月31日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長

城山西小学校142年の歴史に幕

～母校の思い出をいつまでも～



関連記事（休校・廃校一覧）は15ページに

議会広報編集 特別委員会

◎ 増谷 憲
○ 小林 英世
◎ 辻 焔 進
○ 林 俊 明
岡 宣 吾
省 吾

◎は委員長
○は副委員長

求む!



広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラストなど、町民の皆さんから募らせていただいております。
有田川町の名所や風景など、お気軽にご応募ください。
皆さんからの意見、ご感想もお待ちしております。

編集後記

今回から本文は2色刷りにしました。

毎回発行していても気になるのが原稿の締め切り日である。議事録用の録音テープを聞きながら質問や質疑原稿をつくる。大変疲れる仕事である。文章化すると難しい言葉の羅列であったり、長すぎて紙面に収まらないことがよく起こる。省くと前後関係がややしくなってしまう。

だから内容をいかに分かりやすく書くか、口で言うほど簡単にいかない。議員の任期もあと1年足らずになりましたが、昨年よりは読みやすくなったと言ってもらえるような広報誌になるようがんばりたい。

今後とも皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

（増谷 憲）

お問い合わせ ☎ 521-2111
吉備庁舎4階 議会事務局まで